

設置場所に応じた最適なディスプレイを複数台導入 e-Signage Sクラウドサービスで配信・管理が効率化



LEDディスプレイ 180V型(左)、247V型(右)



インフォメーションディスプレイ PN-R706



インフォメーションディスプレイ PN-V605H

導入先

東京ステーション開発株式会社さま

- 東京都千代田区
- 2005年設立。東海旅客鉄道株式会社さまの関連会社で、東京駅一番街の運営および東京都内における東海道新幹線高架下での事業開発など、不動産の開発、管理、運営を主な事業とされている。



導入商品

屋内用フルカラーファインピッチLEDディスプレイ シャープディスプレイソリューションズ社製 LED-FC015i2-10Y インフォメーションディスプレイ

- PN-R706 (70V型)×10台、PN-V605H (65V型)×3台
e-Signage S クラウドサービス
- 東京駅八重洲北口コンコースやのぞみ広場、東京ラーメンストリートに順次導入。

こんなソリューションを実現しました。

導入前の課題

東京駅八重洲北口コンコースでは、これまで液晶ディスプレイを複数台組み合わせた大型マルチディスプレイを広告表示に活用していましたが、保守期間が終了したためリプレースを検討することになり、より先進的なデジタルサイネージに置き替えようと考えました。

247V型、180V型相当のLEDディスプレイや液晶ディスプレイを多数導入し広告表示に活用。

それぞれの設置場所に応じて最適なディスプレイを豊富なラインアップから選べました。

e-Signage Sクラウドサービスでコンテンツ配信・管理が遠隔地からでも可能です。



東京ステーション開発株式会社
営業企画部 企画推進部
岩見航輝さま

■ 導入の背景

保証期間が終了した液晶マルチディスプレイを訴求力の高い先進的な機器でリプレース。

東京駅一番街では広告表示のため各所でデジタルサイネージを活用していますが、クライアントさまから受領した広告を映す機器であるため、製品の保守期間内での使用が求められます。これまで八重洲北口コンコースでは、液晶のマルチディスプレイによる大画面デジタルサイネージを活用していましたが、5年の保守期間が終了したためリプレースを検討することになり、訴求力の高い先進的なデジタルサイネージを設置したいと考えました。

■ 選ばれた理由

**10年保守契約で長期間安心して使える。
保護ガラスが不要で、メンテナンスも簡単。**

東京駅地下1階のぞみ広場などでシャープのデジタルサイネージをこれまでに導入しており、今回もLEDディスプレイを提案していただきました。明るく高精細で切れ目のない一体の大画面を構成できるうえ、10年保守パックにより長期間使えてコスト面でメリットがあることを評価しました。ピクセルカードの表面全体が高耐性の樹脂で覆われているので、LEDディスプレイ全体の前面を保護する大型ガラスが不要になり、万一故障が発生してもピクセルカードを短時間で前面から交換できるのもメリットでした。

■ 導入後の効果

**2面の大画面LEDディスプレイで広告表示。
外出先でもコンテンツ管理できるので便利。**

のぞみ広場や東京ラーメンストリートの液晶ディスプレイのほか、コンコースには247V型と180V型相当の2面のLEDディスプレイ(高さ約3.4メートル)を設置。それぞれ広告を表示して、駅利用者の注目を集めています。各所のコンテンツ表示・配信にはe-Signage Sクラウドサービスを活用し、社内だけでなく外出先からも操作できるので、急遽差し替えを行いたい場合などに、迅速に対応できるようになりました。

■ 今後の展望

**運行情報やイベント情報の発信も検討。
駅の空間演出での利用も考えていきたい。**

コンコースで導入したLEDディスプレイは広告表示で活用していますが、今後は鉄道の運行情報やイベントの案内など、駅利用者への情報発信での利用も視野にさらなる活用を検討したいと思います。また海外の駅・空港や商業施設では、LEDディスプレイを使って空間演出を行うケースがあることから、そうした事例を参考に新しい体験の提供を検討してまいります。



八重洲北口コンコースにLEDディスプレイ (2023年10月導入)



のぞみ広場に柱巻き70V型液晶ディスプレイ (2022年5月導入)



東京ラーメンストリートには液晶60V型の3連設置 (2025年2月導入)